

# Access Map



## 交通のご案内

- ◎JR 友部駅からバス（茨城交通）をご利用の場合
  - ・「こころの医療センター・モノタロウ前行き」に乗り、「こころの医療センター」下車
  - ・「水戸駅行き」「循環」に乗り、「友部第二小学校前」下車、徒歩8分
- ◎自動車をご利用の場合
  - ・JR 友部駅から約7分
  - ・常磐自動車道水戸 IC から約20分
  - ・常磐自動車道岩間 IC から約20分
  - ・常磐自動車道友部 SA スマート IC (ETC 専用) から約15分
  - ・北関東自動車道友部 IC から約10分



## お問い合わせ

### 茨城県病院局経営管理課 (人事・給与グループ)

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町 978-6

TEL.029-301-6516

### 茨城県立こころの医療センター (看護局・総務課)

〒309-1717 茨城県笠間市旭町 654

TEL.0296-77-1151 (代表)

代表 e-mail : mc-kokoro@pref.ibaraki.lg.jp

病院ホームページ【こちらをご覧ください】

<https://www.mc-kokoro.pref.ibaraki.jp>

# こころによりそつ

— 質の高い精神科看護を目指して —



Ibaraki Prefectural  
Medical Center of Psychiatry

## 茨城県立 こころの医療センター





# 未来を拓き、地域に開かれた こころの医療を提供します



野尻 陽子  
茨城県立こころの医療センター／看護局長

## 患者さんへの関心と、そこにある看護

茨城県立こころの医療センターは、県の精神科医療基幹病院としての役割を担い、24時間365日、県全域からの救急患者を受け入れています。また県内で唯一、児童思春期病棟と医療観察法病棟があり重要な政策医療も担っています。

当院では入院患者さんが1日でも早く地域での生活に戻れるよう退院支援にも力をいれて取り組んでいます。そのためには、患者さんの未来を見据えて関わっていく必要があります。また、精神科の患者さんは薬だけで回復するわけではありません。人との関わりのなかで回復していきます。看護師一人ひとりの関わりが“ひとぐすり”になるのです。私たち看護師は患者さんに温かい関心を持ち、患者さんの持つ力を信じ、関わることを大切にしています。ときには患者さんとの関係のなかで、自分自身の感情と向き合わなければならないこともあります。患者さんと共に考え、悩み、ときに喜びを分かち合いながら、患者さんは回復し、私たちが成長していきます。難しいですがやりがいも大きい精神科看護です。ぜひ当院と一緒に働きませんか？



### concept 1.

## 地域に開かれた 中核病院

- 精神保健福祉法の理念に基づき、茨城県における基幹精神科病院としての役割を果たします。
- 患者さんが地域で安心して暮らせるように、地域と連携して支援をいたします。

### concept 2.

## プロを育てる 専門病院

- 高い倫理性と人間性を備え、専門的な知識と技能を高め、患者さんのことを第一に考えて誠実に仕事をする、精神科のプロフェッショナルを育てます。

### concept 3.

## 全国に発信する 先進病院

- 科学的根拠に基づいて先進的な医療・看護を提供し、その成果を全国に発信していきます。



# いつも患者さんとともにいて こころによりそうこと

茨城県の基幹病院としての役割と使命を自覚し、  
患者中心の質の高い信頼される看護を提供します

## ■基本方針

- 患者さんの基本的人権を尊重し、「安全・安心・信頼」の看護を提供します。
- 精神障害者に対応した地域包括ケアを担う一員としての責任を自覚し、職種間・地域との連携を大切にされた看護を実践します。
- 社会情勢や地域の人々のニーズを捉え、必要とする看護が実践できるように最善の努力をします。
- 看護の質の向上のために、丁寧で誠実な看護ケアプロセスを目指して、学習・教育・研究活動に取り組みます。

## ■病院概要

診療科目：精神科、児童精神科、心療内科

外来：精神科外来

専門外来

(児童・思春期外来／薬物問題専門外来／睡眠障害外来)

## ■沿革

1950年 5月	茨城県立内原精神病院開設	2000年 10月	茨城県立友部病院開設 50周年記念式典
1957年 10月	茨城県立内原病院に改称	2002年 7月	児童・思春期専門病棟（つくし）開設
1960年 8月	茨城県立友部病院開設	2004年 3月	精神科救急を平日夜間まで拡大
1967年 4月	日本精神神経学会より「吳秀三賞」受賞	2004年 4月	「社会復帰支援室」を設置
1980年 7月	厚生省認可「精神科デイケア施設」として開所	2007年 4月	精神保健福祉法第23条に基づく警察官通報に ついて、24時間365日受け入れを開始
1986年 8月	運動療法（精神科作業療法）の施設基準の承認	2008年 2月	「茨城県立友部病院整備基本計画」策定
1989年 10月	応急入院指定病院に指定	2011年 4月	「茨城県立こころの医療センター」に改称
1993年 7月	「茨城県立友部病院将来構想」策定	2011年 10月	新病院・医療観察法病棟開設
1994年 3月	「茨城県立友部病院改築整備基本計画」策定	2015年 4月	院内に「茨城県睡眠医療センター」を開設
1994年 4月	プロジェクトチーム「社会生活支援室」を設置	2021年 3月	災害拠点精神科病院に指定
1996年 10月	精神科救急の実施（精神保健福祉法第23条適用）		



## ■総病床数 276

病棟	病棟の機能	病床数
1-1 病棟	精神科救急医療に対応した病棟	40床
1-2 病棟	身体合併症に対応した病棟	45床
1-3 病棟	児童・思春期の精神疾患に対応した病棟	36床
1-5 病棟	医療観察法に対応した病棟	18床
2-1 病棟	急性期精神疾患に対応した病棟	34床
2-2 病棟	精神科救急医療に対応した病棟	43床
2-3 病棟	社会復帰に向けたリハビリ病棟	60床

## ■特色のある病棟

### 児童・思春期病棟

全国でも数少ない専門病棟です。また児童・思春期外来は、1-3病棟の看護師が担当しています。初診から退院まで病棟の看護師が担当することで、子どもたちに安心を提供しています。

### 精神科救急病棟

精神保健福祉法第23条に基づく警察官からの通報があった患者さんについて、24時間365日受け入れ体制を整備し、精神科救急医療の充実を図っています。

### 医療観察法病棟

平成17年に施行された「医療観察法」により、心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った方を対象に、社会復帰を継続的に支援・促進するため多職種による継続的なチーム医療を提供しています。

また、建物構造では、快適な養療空間を随所に確保する一方、セキュリティ対策にも重点を置き、医療安全はもとより地域住民の方々への安全の確保にも万全を期すなど、ハイセキュリティ、ハイアメニティの病棟を目指します。



## message from specialists

それぞれの  
専門性を発揮して  
チーム医療を  
支えています



田端 一成  
精神看護専門看護師

患者さん、看護師の強みを活かす支援  
看護の質の向上のため、相談・教育・研究など専門看護師として看護スタッフの支援を行っています。精神科医療は病院中心から地域生活中心への移行が求められています。患者さんの持つ「希望」は大切な強みです。地域で生活する患者さんの姿を思い浮かべ、患者さんの持つ強みと共に、ケアを行う看護師の強みも活かせるよう支援していきます。



梅津 幸孝  
感染管理認定看護師

単科の精神科領域での感染対策  
感染管理認定看護師として感染対策委員会、感染対策チームや感染対策リネックス会に所属しています。未開拓な部分もある精神科領域での感染対策を試行錯誤しながら日々実践しています。身体科看護師も精神科看護師も患者様に対して思う気持ちは一緒です。良くなってほしい、人間らしく生きてほしいということです。当院で一緒に質の高い看護を目指しませんか。



木村 弘幸  
精神科認定看護師

大切なのは患者さんに寄り添うこと  
児童・思春期病棟で、子どもたちの心のケアを行い、成長発達を支えています。精神科看護師のやりがいは、子どもたちの視点にたち、寄り添うことで、自分自身の成長につなげられることです。当院は患者さんの困りごとを理解し、ニーズに応えるための環境が整っています。皆さんも私たちと一緒に働きましょう。



寺門 宏晃  
精神科認定看護師

患者さん個人の強みを活かす  
患者さんの行動制限を減らす看護を担当しています。当院を志したのは、心を看護するとはどういうことかを知りたかったからです。現在は、患者さん自身の問題対処行動やその力を強化することで、自らも人間力が鍛えられていると実感しています。患者さん個人のニーズを考えることで、患者さん個人の強みを活かした看護を実践できるようになったと思います。



藤田 智則  
精神科認定看護師

多職種連携によるチーム医療の推進  
医療観察法病棟では、重大な他害行為を行った精神障がい者に対する医療と社会復帰支援が行われています。看護師は、多職種が協働するチームで調整役となり、計画的・継続的に個別性の高い医療を実践していく上で重要な役割を担っています。責任は重大ですが、対象者の社会復帰促進と地域共生社会の実現に向けて、チーム一丸となって取り組んでいます。



# 精神科看護実践 チームで躍動するスタッフたち



児童思春期病棟



CVPPP推進委員会/インストラクター  
Comprehensive Violence Prevention and Protection Programme



チームQ (救命救急)



DPAT (災害派遣精神医療チーム)  
Disaster psychiatric assistance Team



退院支援・継続看護委員会

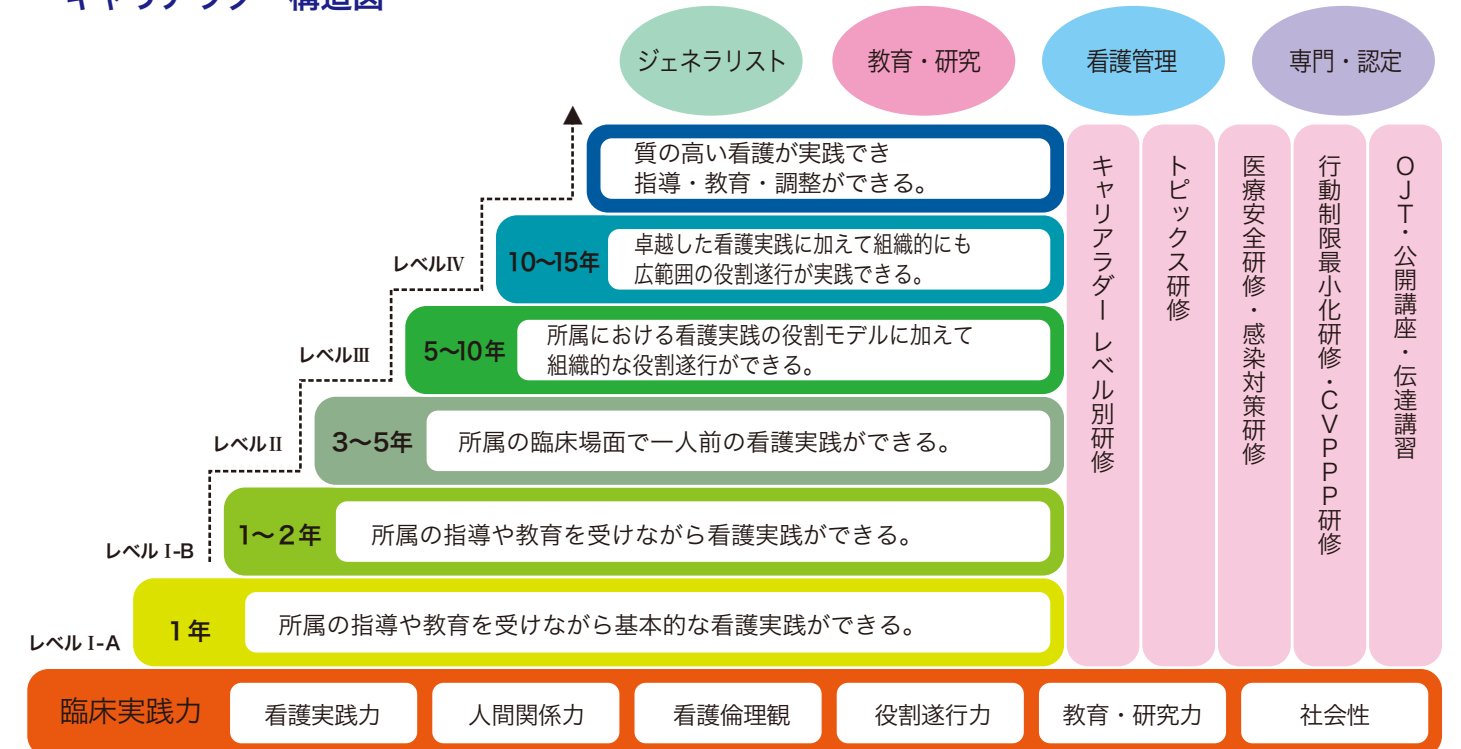


訪問看護

## ■キャリアラダーにおける当院のコンセプト

自分のキャリアと組織のために～それは患者・家族・地域のために

### キャリアラダー構造図



## ■新人看護師年間研修日程

- 4月 新人職員オリエンテーション研修
- 5月 基礎看護技術研修～部署 OJT
- 6月 3ヶ月振り返り研修
- 9月 6ヶ月振り返り研修
- 2月 元気が出る研修
- 3月 1年振り返り研修

新人職員には、プリセプターシップにより1年間マンツーマンで先輩看護師が親身にサポート。基礎看護技術は集合研修やOJTで習得。また、日本看護協会や日本精神科看護協会、各種学会、研修会等に参加し、看護のプロとしての臨床実践力を磨いています。

## ■マネジメントラダー (副看護師長・専門員以上)

茨城県の基幹病院としての役割と使命を自覚し、患者中心の質の高い信頼される看護を提供できるよう、より広くより長期的な観点からマネジメントを行い、人材育成に取り組んでいます。

## ■保育所のご紹介

名称/ひまわり保育園 収容定数/110人  
 保育対象/病院に勤務する看護職員等の子で0歳から小学校就学前までの健康な乳幼児  
 保育時間/月～金:24時間保育 土・日:8時～17時45分 (必要に応じて19時まで延長)  
 保育料/笠間市の「保育料徴収基準額表」に基づき入所児童の属する世帯の階層区分により規定

## ■研修プログラム

- キャリアラダーレベル別研修より(一部抜粋) 精神科看護の専門職としての知識と技術を修得します。
- 精神疾患と看護の理解 ●セルフケア理論
  - フィジカルアセスメント ●看護倫理 ●精神保健福祉法
  - 倫理的問題の振り返り ●障害者総合支援法 ●中範囲理論
  - 行動制限最小化看護 ●コンコダンス ●救命救急処置技術
  - 退院支援 など

## 資格取得や研修等の支援

- 認定看護師や特定行為研修などの研修費、研修期間中の給与・賞与は全額支給
- 学会発表や論文投稿などの看護研究に取り組むスタッフも多く勤務しています
- 各種資格取得や大学院進学など、個人の希望や適性を考慮し支援しています